

ジェンダー平等を実現し、 すべての人びとの人権と安全を保障する社会にするために

「人間の安全保障」は「欠乏からの自由」、「恐怖からの自由」、あるいは自身のために行動する自由といった様々な自由を結びつける。「保護」と「能力強化」はこうした目的を達するための総合戦略である。

『人間の安全保障委員会 最終報告書要旨』

<http://www.humansecurity-chs.org/finalreport/j-outline.html>

私たち、2004年11月6日、第15回アジア女性会議 北九州「北京+10に向けて 人間の安全保障とジェンダー」に集った1060人の参加者は、ジェンダー平等の実現は人間の安全保障の基礎であることを確認し、世界中の人びとが平等・開発・平和を享受でき、人間と地球環境が共存できる社会を構築するよう、一層努力したいとの思いを強くしました。

私たちは、世界の友人たちに、共に、ジェンダー平等推進の動きに加わり、すべての人びとの権利や尊厳が保障され、男女を問わず、すべての個人が持つ豊かな可能性を実現できる社会を作るよう呼びかけます。

私たちは今、第一回国連世界女性会議から30年、歴史的成果である「北京行動綱領」の採択より10年を迎えようとしています。この間私たちは、「平等・開発・平和」を掲げ、女性のエンパワーメントとジェンダー平等の実現に向かって、ゆっくりと、しかし確実に前進してきました。また、長い間紛争状態にあった地域でも、新しい社会づくりが始まり、女性が重要な役割を担ってきています。しかしながら、その一方で、21世紀を迎えた世界は、経済のグローバル化の進展によりもたらされた負の影響や、9.11以降のいわゆる「テロリズム」、大国による単独行動主義などによって不安定な状況に直面し、人びとの生活と安全は脅かされ続けています。このような脅威に対して、アジアに生きる私たちは、深い憂慮と、そのもっとも直接的な被害者への連帯を表明します。

人間の安全が保障されるためには、先ず私たちが戦争や紛争の脅威・恐怖にさらされることのないようにしなければなりません。戦争や紛争はジェンダーにより異なる影響を及ぼすので、紛争予防、紛争解決、平和構築のすべての過程にジェンダーの視点を統合することは大切です。2000年10月に採択された、女性・平和・安全に関する国連安全保障理事会決議1325号は、武力紛争下での女性の経験と平和構築に果たす役割を認めた画期的なものであり、私たちはこれが完全に実施されるよう監視を続けます。

人びとが飢えや貧困状態におかれ、自分の持てる力を実現する機会が奪われている社会は、人間の安全を保障する社会とはいえません。戦争は貧困の原因をつくることに留意し、グローバル化により拡大してきた強者と弱者の差を縮め、すべての人が公平に人権を享受でき、人びとの連帯を強め、地域社会の力を強化するよう、持続可能な開発を進めることが必要です。特に女性は、戦争、暴力、貧困、環境破壊、人権侵害の犠牲者であると同時に、開発を担い、平和、環境、人権を守っています。私たちはこの女性の役割を確認し、女性の連帯を強めるような開発をすすめるよう提言します。また、現在世界各国で取り組まれているミレニアム開発目標の達成のためにはジェンダー平等が欠かせないことを強調し、ここにその重視を提言します。

移住者、人身売買被害者、難民・避難民、障害者など、とりわけ弱い立場にある人びとの権利と安全保障およびジェンダー平等の実現は、社会全体の課題でありながら、十分に達成されているとはいえません。これらの課題に取り組むためには、当事者のジェンダーに平等な決定への参加を基礎とする地域社会づくりをはじめ、市民社会、国家、そして国際社会におけるジェンダー主流化推進との緊密な連携を重視するよう提言します。

以上の認識にもとづき、人間の安全が保障される社会を実現するために、私たちはまず次のような取り組みから始めたいと思います。

私たちが考える当面の取り組み

1. 偏見をなくす努力

私たちの地域や社会にはびこっているさまざまな偏見、たとえば、男女のちがい、国籍、民族、年齢、思想・信条、宗教、文化のちがいなどによる偏見に意識を向け、日々の生活のなかでそれらをなくすよう努力します。

2. 非暴力の努力

学校、家庭、職場などでのいじめ、家族内暴力（DV）、セクシュアル・ハラスメントなどの性に基づく暴力をはじめとするあらゆる暴力を見逃さず、言葉による暴力を含め、暴力や力によらずに解決するようにします。

3. 人とつながる努力

無力感にとらわれず、自立した一人一人の人間が、互いに助け合い、ともに活動することを通じて、自信を持つようになり、また、世界の人びとと問題を共有することができるよう努力します。

4. 新しい生き方や暮らしを模索し、実践する努力

世界各地で人びとが実践しているさまざまな努力を知り、学び合い、固定的な男女の性別役割分業に基づかない、持続可能な社会をつくるよう努力します。